

社会・地理歴史・公民における一人一台端末を活用した授業案

校種・学年 分野（科目）	公民（公共）	単元名	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち (3) 主として経済に関わる事項 雇用と労働問題
-----------------	--------	-----	--

育みたい社会的事象について 調べまとめる技能	一人一台端末活用の効果	使用するアプリ
【情報を収集する技能】 新聞やインターネットから情報を集める 【情報をまとめる技能】 聞き取って、効果的な形式でまとめる	・〇×テストで関心を高めるとともに生徒の実態を把握する。 ・Google スプレッドシートを共有し、グループワークを行うことで学び合いを促進する。	・Google classroom ・Forms ・Google スプレッドシート

★一人一台端末を活用する場面

授業の概要	労働者の権利を守るために、労働基準法などの法律が制定されていることを理解し、非正規雇用の増加、ブラックバイトなど、現代日本の労働問題の動向を知る。アルバイトのシフトを決めるロールプレイから、より良い働き方を実現する為に必要なことを考える。	
	学習内容・活動	一人一台端末の活用ポイント
	<p>1時間目</p> <p>〇労働者の権利を守るための法律について学習する。</p> <p>・労働についての〇×クイズを行い、労働基準法の条文と関係について、教科書やインターネットで調べまとめる。</p> <p>・児童労働や長時間労働についての資料から、労働基準法が定められている意味を考える。</p> <p>〇ブラックバイトについての新聞記事を読む。</p> <p>・問題点を確認し、グループで共有する。記事にあるような事例に遭遇した場合、自分ならばどうするか考え、グループ内で発表する。</p> <p>〇アルバイトのシフトを決めるロールプレイを行う。</p> <p>・コンビニエンスストアを例に、店長、高校生などの役割を決め、それぞれの利害に基づいて1週間のシフトを決定する交渉を行う。相手の立場も考え、ウィン・ウィンになることを目指す。</p> <p>2時間目</p> <p>〇完成させたシフト表を発表する。</p> <p>・なぜそのような結果になったのか、どのように交渉することがよい結果につながるかについて考えをまとめ、グループごとに発表する。</p> <p>〇労働問題解決の在り方やより良い働き方をするために必要なことを考える。</p> <p>・派遣労働者、介護離職、障害者雇用、技能実習生などについての新聞記事を配布し、問題点を読み取り、ワークシートにまとめる。</p> <p>・様々な立場の人たちが快く働ける職場とは、どのようなものか考える。</p>	<p>・資料、ワークシート等は Google classroom ムで配布・回収する。</p> <p>・Forms で労働条件や賃金に関する〇×テストを行い関心を高める。結果は自動で採点、集計され、生徒の実態を把握することができる。</p> <p>・Google スプレッドシートでアルバイトのシフト表を作成する。オンラインで作業することで、コピーや削除が容易にでき、学び合いが促進される。</p> <p>・事例ごとに問題点を読み取り、共有する。それぞれの労働者が抱える問題点について理解した上で、どのような環境にすれば、働きやすくなるか考え、意見をまとめる。</p>

○配布する課題のイメージ

労働問題○×クイズ

労働問題○×クイズ。

次のQ1～6は労働基準法にてらして、認められるだろうか？
認められるは○、認められないは×を選択しなさい。

Q1. 焼肉屋で働くA（高校1年生・16歳）は客から人気があったので深夜0時まで働いた。*

- ×

Q2. 今月は不況で売り上げが激減したため、労働者への賃金が1万円減らされることになり、Bはその穴埋めとして工場で作っている「ホットプレート」をもらった。*

- ×

Q3. 高校生Cは忙しかった日、9時間働いたので、時給×9時間の日給をもらった。*

- ×

Q1～5の問題が労働基準法のどの条文と関わっているのか、教科書、資料集、インターネットなどを活用し、まとめなさい。

Q1. 焼肉屋で働くA（高校1年生・16歳）は客から人気があったので深夜0時まで働いた。

Q2. 今月は不況で売り上げが激減したため、労働者への賃金が1万円減らされることになり、Bはその穴埋めとして工場で作っている「ホットプレート」をもらった。

Q3. 高校生Cは忙しかった日、9時間働いたので、時給×9時間の日給をもらった。

Q4. 大学生Dは、時給1100円のアルバイトに応募した。最初の2か月間は「研修期間」だからと実働時給550円で働いた。

Q5. 発熱でアルバイトを2日欠勤した高校生Eに対して、店長が2日分の給与「9,350円」を天引きした。

日本では、少子高齢化が進み、労働力不足が問題化されている。
コンビニではアルバイトの欠勤に対して罰金を課したことがニュースでも取り上げられた。コンビニ業界では、アルバイト確保の難しさと利益確保のため、店長の長時間労働や深夜のワンオペも問題となっている。
「コンビニXY」では夕方は3人の従業員で営業している。夕方の3人の従業員は高校生3人・大学生1人・留学生1人と店長が担当している。高校生3人は同じ時期にテストがあり、テスト1週間前から休みたいと申し出た。しかし、高校生3人が休みを取ってしまうとお店が回らなくなりお客さんに迷惑がかかる。かわりを大学生・留学生・店長に頼んだが、断られてしまった。
従業員の勤務の観念は次の通り。高校生のうち2人が週に3日、1人が2日働いている。大学生と留学生はそれぞれ週に4日働き、店長は5日働いている。大学生も留学生も週に4日以上は働きたくない。店長は深夜勤務もしているため、できれば休みを確保したいと考えている。

	月	火	水	木	金	土	日
高校生a				○	○	○	
高校生b	○	○					○
高校生c					○	○	
大学生	○	○	○				○
留学生			○	○		○	○
店長	○	○	○	○	○		

高校生3人が休んだ場合には、以下のような図のシフトになります。

	月	火	水	木	金	土	日
高校生A							
高校生B							
高校生C							
大学生	○	○	○				○
留学生			○	○		○	○
店長	○	○	○	○	○		

この状態では水曜日以外は人手が足りない。人手が足りなければ忙しさが噴出。高校生が休むと、残された大学生・留学生・店長も困ることになる。また、来店したお客さんにも迷惑が掛かることになる。このような状態をなるべく避け、互いがウィン・ウィンな状態をめざそう。

6人一泊を作り、役割分担を決め、それぞれの利害カードを渡します。利害カードの情報をもとに、互いに納得のいく交渉をしましょう。カードは見せるのではなく、交渉して聞き出しましょう。

	月	火	水	木	金	土	日
高校生A							
高校生B							
高校生C							
大学生							
留学生							
店長							

なぜ、上記のような結果になったか話し合いなさい。

どのように交渉することが良い結果につながると思いますか？